

令和7年度 授業計画

(工業専門課程 一級自動車整備学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	授業方法			場所		教員		実 務 経 験 を 有 す る 教 員 等 に よ る 授 業	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択					講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		企 業 等 と の 連 携
○			材料	自動車整備作業に関係する自動車のリサイクル対応の予備知識の習得。	1 前	10.8	○			○		○			
○			図面	整備士として業務で用いるマニュアル等の図が理解でき、簡単な図が描ける知識を習得する。	1 前	7.2	○			○		○			
○			基礎自動車工学	自動車の全体像を理解させ、その後の本格授業への意識付けを行う。自動車の専門用語、専門単位に触れ、技術者の卵としての意識付けを行う。	1 前	14.4	○			○		○			
○			基礎整備作業	整備の基礎知識を理解し、身に付ける。基礎整備作業を理解し、身に付ける。電流・電圧・抵抗・回路等、義務教育で学んだ内容の復習。サーキットテストの使用方法を覚える。	1 前	14.4	○			○		○			
○			自動車総論Ⅰ	整備士として業務で用いる計算式が理解でき、計算方法を習得する。	1 後	18.0	○			○		○			
○			パワーユニット構造	ホンダ二輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得 ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得	1 前	64.8	○			○		○			
○			シャシ構造	二輪及び四輪自動車のシャシ系装置について、基本構造と名称及び作動の理解を目的とする。	1 前	64.8	○			○		○			
○			パワーユニット整備	二輪・四輪の各装置の概要・構造・機能・整備を理解する。燃料の精製・性状・添加剤・取り扱い上の注意を理解する。潤滑剤の目的・種類を理解する。	1 後	57.6	○			○		○			
○			シャシ整備	二輪及び四輪自動車のシャシ系各装置について、基本構造の復習と更なる理解度の向上を目的とする	1 後	57.6	○			○		○			
○			二輪車整備	二輪車エンジン、フレーム、電装の各装置について、基本構造と整備の理解	1 後	19.8	○			○		○			
○			自動車法規	自動車整備士として必要な「道路運送車両法」の基本的な法令知識を身につけ、法令に則った適正な整備・点検業務を行える基礎を養う。	1 後	7.2	○			○		○			
○			基礎整備作業実習	工具の名前を覚えて使い方を理解 お客様の財産を扱うという意識を持たせる 整備作業を安全にのルールを理解	1 前	18.0				○		○			
○			パワーユニット構造	ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得 ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得	1 前	158.4				○		○			
○			シャシ構造	二輪及び四輪自動車シャシの各装置について、基本構造、作動、機能、名称の習得を目的とする。	1 前	158.4				○		○			

令和7年度 授業計画

(工業専門課程 一級自動車整備学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験 を有する 教員等による授業
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			パワーユニット整備	二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの 基礎知識・技術を習得する。	1後	162.0			○	○		○			
○			シャシ整備	各装置の点検、調整、測定の要領を習得、定期点検（12カ月点検）導入、及び記録簿の記入要領の習得	1後	162.0			○	○		○			
○			二輪車整備	二輪車エンジン、フレーム、電装の各装置について、基本構造と整備の理解	1後	16.2			○	○		○			
○			安全運転学	自動車業界の一員であることを自覚し、規律の大切さと他人との協調を養う。安全運転の思想『人間尊重』を学ぶ。	1通	25.2	○		△	○	○	○			
○			接客実務	就職活動時に必要となるスキル、広く接遇の基本マナーを身に着け、最小限のマナーを身につける。	1通	18.0			○	○		○			
○			実践自動車整備	自動車整備士の役割、社会的使命とコンプライアンスを理解する タイヤ空気充てん作業特別教育	1通	21.6			○	○		○			
○			自動車総論Ⅱ	二級自動車整備士（総合）試験の2級、3級に出題される総論・工学の計算問題を解けるようになる。	2前	30.6	○			○		○			
○			応用パワーユニット1	ガソリン・エンジンの各装置（二級自動車整備士（総合）のエンジン領域）の構造・機能及び電気装置の仕組みを理解する。	2前	46.8	○			○		○			
○			応用パワーユニット2	ガソリン、ジーゼル・エンジン及びハイブリッド自動車の各装置（二級自動車整備士（総合））の機能・構造及び仕組みを理解する。	2前	36.0	○			○		○			
○			応用シャシ	車両の保安基準適合性や車両の動力伝達等（二級自動車整備士（総合）のシャシ領域）の構造、機能、作動を理解する。	2前	46.8	○			○		○			
○			総合パワーユニット	電気自動車の整備業務及びHonda車の電子制御装置、HYBRIDシステムの機能、構造、役割を理解する。	2後	32.4	○			○		○			
○			総合シャシ	Honda車のミッション、シャシ装置、補器類の機能、構造、作動を理解する。	2後	32.4	○			○		○			
○			モビリティ技術	Hondaの取り組んでいる活動、最新技術、運転支援システムなどを理解する。	2前	10.8	○			○		○			○
○			自動車検査	車両の保安基準適合性、ブレーキ装置、電気装置等（二級自動車整備士（総合）のシャシ領域）の構造、機能、作動を理解する。	2前	23.4	○			○		○			

令和7年度 授業計画

(工業専門課程 一級自動車整備学科)														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	授業方法			場所		教員		実務経験 を有する 教員等による 授業
必修	選択 必修	自由 選択					講 義	演 習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			自動車法規	自動車整備士に必要な法規（道路運送車両法、道路運送車両法の保安基準）を理解し、実践できるようにする。	2 前	19.8	○			○		○		
○			応用パワーユニットⅠ	エンジン領域の各装置について、構造、機能、整備作業について実習を通じて理解度を高める。	2 前	46.8			○	○		○		○
○			応用パワーユニットⅡ	ガソリン、ディーゼル・エンジン及びハイブリッド自動車の各装置（二級自動車整備士（総合））の機能・構造及び仕組みを理解する。	2 前	54.0			○	○		○		○
○			応用シャシ	シャシ領域の各装置について、構造、機能、整備作業について実習を通じて理解度を高める。	2 前	46.8			○	○		○		○
○			総合パワーユニット	エンジン領域の各装置について、構造、機能、整備作業について実習を通じて理解度を高める。	2 後	46.8			○	○		○		○
○			総合シャシ	シャシ領域の各装置について、構造、機能、整備作業について実習を通じて理解度を高める。	2 後	46.8			○	○		○		○
○			整備作業シャシ	シャシ領域の各装置について、構造、機能、整備作業について実習を通じて理解度を高める。	2 後	46.8			○	○		○		○
○			実践力養成	必要な知識や技術を実践的な授業を通して、知識や技術を習得しや自分の考えをまとめ発表できるようにする。	2 通	79.2			○	○	○	○		
○			整備作業パワーユニット	エンジン領域の各装置について、構造、機能、整備作業について実習を通じて理解度を高める。	2 後	46.8			○	○		○		○
○			モビリティ技術	Hondaの最新技術、運転支援システムなどを点検整備、作動確認などを実施することで理解度を深める	2 前	28.8			○	○		○		○
○			自動車検査	シャシ領域の各装置について、構造、機能、整備作業について実習を通じて理解度を高める。各作業における中間検査、完成検査の手順を理解する。	2 前	54.0			○	○		○		
○			安全運転学	自動車業界の一員であることを自覚し、交通社会において安全運転の実践と普及（アドバイス）することが出来るようになる。	2 通	18.0	○		△	○	○	○	○	
○			接客実務	Honda Carsのサービス部門の仕事を理解し、サービス活動とフロント業務の知識を習得する。	2 通	18.0	○		△	○		○	○	
○			実践自動車整備	授業及び教科書内容の理解を深めることで、国家二級自動車整備士（総合）資格に合格するための基礎知識を身につける。	2 通	90.0	○		△	○		○		

令和7年度 授業計画

(工業専門課程 一級自動車整備学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験 を有する 教員等による 授業
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			自動車構造・力学	1級整備士におけるの自動車構造及び自動車の性能等における力学的要素について知識を習得する。	3前	18.0	○			○		○			
○			自動車電気・電子	1級整備士レベルでの自動車電気装置（電子制御回路の基本と応用及び点検診断等）における知識を習得する。	3前	32.4	○			○		○			
○			新材料・新技術	自動車の新機構・新材料及びHonda技術等について理解習得する	3後	43.2	○			○		○			
○			総合診断技術	1級整備士レベルでの各センサーやアクチュエーターの回路を理解する。信号波形を理解し、適した測定方法を理解する	3通	64.0	○			○		○			○
○			応用整備技術	（前期）電子パーツ、半導体の構造・機能、特徴を理解する。オペアンプの使い方の理解。簡単な回路設計（後期）1級シャシ・エンジンの理論的な診断（CAN通信含む）	3通	99.0	○			○		○			○
○			環境安全論	「環境保全」の必要性と意義、資源の有効利用、産業廃棄物の影響と対応、整備工場における適正処理等の知識を理解する。安全管理・防火防災・応急処置・安全管理等	3前	28.8	○			○		○			
○			自動車検査（一級）	道路運送車両法に基づき検査業務を学ぶ。検査機器の使い方、指定整備記録簿の適切な理解運用	3前	7.2	○			○		○			
○			自動車法規（一級）	1級整備士として道路運送車両法や保安基準、合わせて関係諸法令等を理解し、正しい運用能力を身につける。	3前	10.8	○			○		○			
○			自動車概論Ⅰ	1級教科書（エンジン・シャシ・環境・法令・新技術）の教科書理解	3通	23.4	○			○		○			
○			自動車概論Ⅱ	電子制御装置のセンサー技術・アクチュエータ技術・制御技術を学ぶ	4前	99.0	○			○		○			○
○			整備技術	エンジン電子制御装置の知識を学び、応用技術を理解する。電源・センサ・アクチュエータ・信号電圧・異常検知・故障診断の理解。オシロスコープ外部診断機の活用。	3前	126.0			○	○		○			○
○			故障診断	シャシ電子AT/EPS/ ABS/ ACの知識を学び、応用技術を理解する。電源・センサ・アクチュエータ・信号電圧・異常検知・故障診断の理解。オシロスコープ外部診断機の活用。	3後	72.0			○	○		○			○
○			応用整備実務	車検・点検・一般整備作業、およびHondaサービスエンジニアに必要な知識技術の習得。E-DEALERの習得。アライメントテスターによるアライメント調整	3通	144.0			○	○		○			
○			整備作業課題研究	テーマ研究を推進することでテーマ推進のプロセスを理解すると共に、各自の整備技術・知識の向上を目指す	3後	140.4			○	○	○	○			

令和7年度 授業計画

(工業専門課程 一級自動車整備学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験 を有する 教員等による授業
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			自動車検査（実習）一級	検査業務の流れ、機器の取り扱いの習得。自動車に関する法令を把握し、それらに対応した検査・点検・一般作業を習得。	3後	21.6			○	○		○			○
○			専門実習	一級整備士としての実践的な整備技術の向上を図ると共に高度な診断スキルを習得する。問診手法を通じて	4後	226.8			○	○		○			○
○			応用実習	実践的作業実習（車検点検・一般整備）	4前	64.8			○	○		○			○
○			総合実習	軽作業～重作業迄の実際の現場で想定される整備技術の習得。オシロスコープやサーキットテスタを活用した診断手法習得。実習によるHDSの習得	4通	291.6			○	○		○			○
○			体験実習（企業実習）	授業で学んだ理論と技術を実際の職場で実践、確認することで、自己の弱点を把握し、卒業までの具体的な課題と目標を明確にする。	4前	151.2			○		○	○		○	
○			サービスマネジメント	Hondaのサービスエンジニアに必要な幅広い知識を習得する。	34通	14.4	○			○		○			
○			サービスマネジメントⅠ	サービスフロントとしての技術、知識を身に着ける。実践の点検しながら、Hondaの顧客管理システムE-DEALERによる顧客管理/騒音診断・問診・お客様対応を学ぶ。	3通	100.8	○		△	○		○			○
○			サービスマネジメントⅡ	Hondaのサービスエンジニアに必要な技術を習得し、実技試験合格を目指す。	4通	30.6	○		△	○		○			○
○			経営概論	1級整備士としての対人関係能力向上を図る。仕事の進め方の理解、特にQCの理解、実践により問題解決手法の理解	3前4通	61.2	○			○		○			
○			営業実務	顧客対応能力、用品知識などの応用スキルや販売会社における実務としての知識を身に付けると共に、接客実務の能力向上を図り実践する。	34通	122.4	○	△		○		○		○	
○			情報処理実務	社会人としてのPC操作能力の向上を図ると共に、販売会社で使用しているシステムを学び実践できるようにする。	3前4通	61.2		○		○		○			
					67	科目	4033			単位（単位時間）					